

What's up



国際交流協会青年部

Mail : kokusaikoryuseinenbu@yahoo.co.jp

2021年最初のWhat's up! 青年部のメンバーも様々な場所から近況を届けてくれました。また元中山中学校校長の井上先生からもメッセージをいただきましたので紹介します! 一刻も早くコロナが終息し、平穏な日常が戻りますように。。

井上 昭先生 (元中山中学校校長)

現在私は大山町教育支援センターで不登校傾向の子ども達の支援をしています。2年近くなりますがとてもやり甲斐のある仕事だと感じています。

さて、テメキュラ交流中学生研修団の団長として7名の生徒を引率したのは5年前の事でした。異文化を徐々に受け入れテメキュラの人々の優しさ温かさに触れとても有意義な研修を生徒と共に体験できました。

個人的に忘れられない思い出は、シニアセンターでの中学生のプレゼンの演奏・合唱披露のサプライズとしてギターで歌わせてもらったことです。「カントリーロード」でのサビの部分になると一緒に歌ってくださったり、アンコールもいただき「イエスタディワンスマア」を演奏し、スターの気分を味わいました。「来年も来てね」とおばあさんから熱いハグをされ「勿論ですよ」と施設を後にしました。

もう一つはホストファミリーとの時間です。とても料理上手なご夫婦に美味しいステーキを焼いていただいたり、生き方についても夜遅くまで話をしました。よく食べ、よく笑い、深く考えた8日間でした。

このような体験が出来たことはこれまでの交流を築きあげてこられた国際交流協会、大山町役場、そして金子コーディネーターの心のこもったプロの仕事に負うところが大きいと感じます。残念ながら新型コロナウイルス禍の影響で交流活動が一時停止となっていますが、早い終息、再開を願っております。そして交流を経験された青年部の方々が様々な分野で活躍され、交流に新しい風を吹かせてくれることを期待しています。



清水 みもい



中学生でテメキュラに行ってからずっと広い世界に興味と憧れがありました。大学に進学して自由な時間が増えてから、休みのたびに海外へ飛び出していました。アジアを中心に10カ国以上訪れ、たくさんの貴重な経験をすることができました。今度はわたしが旅行に連れ出せる人になりたいと思い、いまは京都で観光タクシーのドライバーをしています。運転にも自信がなく観光の知識もなかったので日々追われていましたが、3年目になり余裕もできたので時間を見つけてまた旅行に行こうと思っています。いまの目標はエジプトです! 何事にも恐れず色々なことに挑戦をしていきたいと思っています。

柴田 広一

私がテメキュラを訪問したのは、6年前の20歳の時です。初の海外旅行だったため、目に映る全てのものが新鮮で刺激的だったことを覚えています。

また、ホストファミリーにもとても親切にして頂き、最初は不安だったホームステイを楽しく過ごすことができました。

大学卒業後は鳥取に帰り、現在は大山町役場の職員として働いています。

今はまだ仕事を覚えるのに精一杯ですが、テメキュラで見たもの、体験したことを大山町のまちづくりに生かせたらいいなと思っています。またいつかテメキュラにも行ってみたいです。

本来であれば中学3年の時に訪問する予定だったのですが、当時アメリカで新型インフルエンザが流行していたため、中止となってしまいました。その時のメンバーが20歳になった時にお誘いを頂き、テメキュラを訪問することができました。

今、世界中に新型コロナウイルス感染症が蔓延しています。カリフォルニア州では感染拡大が続き、テメキュラもその例外ではないと聞きました。一刻も早くコロナウイルスが収束し、テメキュラとの交流が再開することを願っています。



前田 彩希

テメキュラを訪れてから7年程経ち、今は神戸の大学に通っています。

テメキュラの滞在では、色んな違いに驚いたり上手く伝えることができずに困ったりしたことを覚えています。しかし、それ以上にテメキュラの方々の優しさや楽しさを感じました。この経験を通して、もっと様々な人々やその生活・文化について知りたいと思うようになりました。

大学に入学してから、外国語や世界の人々の生活・文化について学んだり、東南アジアに一人旅に出たりしました。コロナウイルスの影響で留学が叶わなくなりましたが、代わりにオンラインでインドネシアの大学の授業を受けています。

今は大変な状況ですが、またテメキュラやその他の世界中の地域に行くことを楽しみにしています。



馬田 あすか

中学生でテメキュラに行った事をきっかけに、「もっといろんな国に行ってみたい!」と思い、高校生の時も海外交流に参加したり、個人的に海外旅行に行くようになりました。交流に参加する前も今も英語はうまく話せませんが、コミュニケーションはジェスチャーなど非言語的要素が大切であると思いました。このご時世、人と直接会ってコミュニケーションを取ることが少なくなり、改めてその大切さに気付かされました。また、社会人として仕事をしていく中で経験を日々活かしています。海外に行き、さまざまな文化や習慣、そして人に出会うことの楽しさをこの交流をきっかけに教えていただきましたことに深く感謝しております。今は海外との行き来が難しく、世界中が厳しい状況にありますが、今後もテメキュラ交流が発展していくことを心から祈っております。

